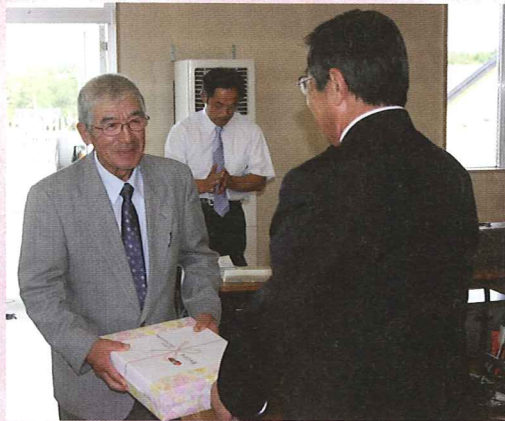


なかしゅんべつ

2008
10
No.369



たくさんの笑顔と、 たくさんの笑い声が響く



古希を代表して記念品を受取る高田珠夫さん



米寿を代表して記念品を受取る高橋ミノルさん



踊りを披露するみなさん



去る九月十七日、健康と長寿を祝いJA中春別敬老会
が中春別福祉館で和やかな雰囲気の中、開催されました。

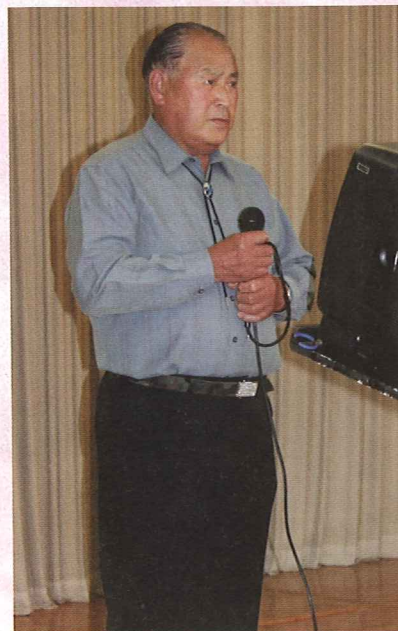
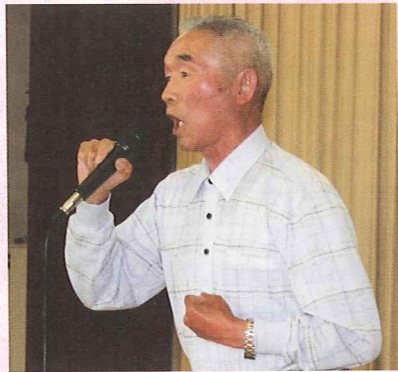
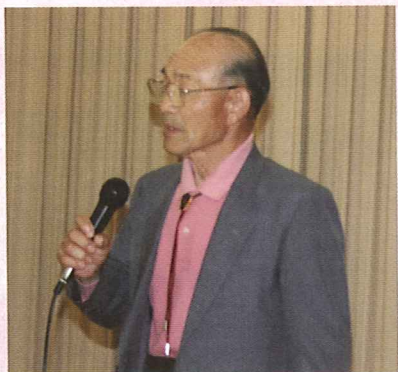
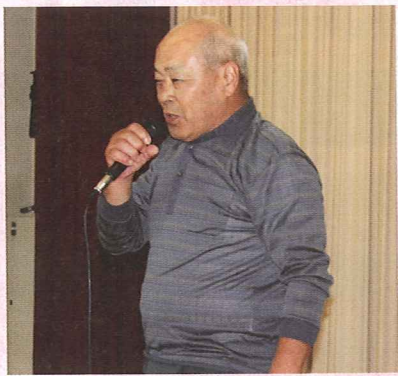
七十歳以上のお年寄り
二百二十人のうち、百四
人の方が今年も元気な顔
を見せてくれました。

今年米寿を迎える方は、

三人で、別海町、別
海町社会福祉協議会
から記念品が贈られ
ました。米寿を代表

して豊原地区の高橋ミノル
さんが、古希を迎える方は
十七人で、別海町社会福祉
協議会から記念品が贈呈さ
れ、古希を代表して豊原地
区の高田珠夫さんがそれぞ
れ代表して受け取りました。
七十歳以上の方全員に健康
で明るく、益々のご健勝を

敬老会



みなさん日頃鍛えた自慢の喉を披露され、拍手喝采でした！

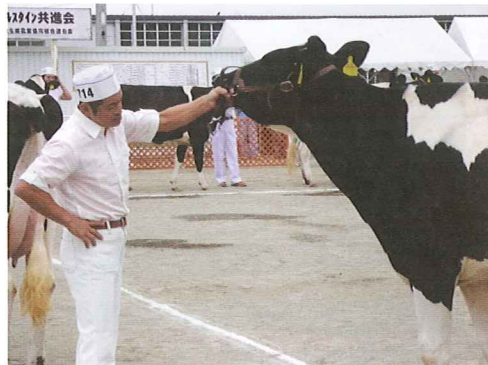


祈りJAより記念品が贈呈されました。
各テーブルでは、皆さん会話が弾み絶えず笑顔と笑い声が溢れておりました。
豊原手踊りグループ、美原盟友会の踊り、豊原地区の望月さんのフラダンスと披露された後、自慢の喉を

披露し熱唱、熱演する出席者に会場を埋めた観客から温かい拍手が送られました。
皆さん趣味も多く、お元気に日々過ごされているようです。これからも毎日笑顔のたえない、いち日一日を大切に、未永くお元気でいてください。

各部とも体型に優れ、 高レベルな根室ホルスタイン共進会

平成二十年根室ホルスタイン共進会が八月二十四日、すがすがしい陽気のなか、中標津町ホクレン根室家畜市場で開催されました。



総出品頭数は百八十一頭と昨年よりわずかながら少なくはなりましたが、各部とも高体型に優れレベルの高い共進会となりました。今年度の審査員には、(株)ジェネティクス北海道/十勝清水種雄牛センター場長、松浦栄氏が当たりました。当農協からは二十頭(経産牛十三頭、未經産牛七頭)

と少々寂しい出品頭数となりましたが、七部(後代検定二歳クラス)の佐々木靖裕さん出品のウオーカー マラソン ブリトニー号が二席、また、十三部(五歳クラス)の橋本幸二さん出品のアピリテイファーム フォー マチツク号が二席に入り、以上の二頭が全道共進会への出品が決まりました。結果、二等賞は七頭が入賞し、入賞率は三五%と少々寂しい結果となりました。

なお、九月二十七日(二十八日)に開催されます2008北海道ホルスタインナショナルショウには、根室管内から五十七頭の代表牛が出品されます。このショウに先駆けまして九月十七日に共進会祝勝会並びに全道壮行会が白樺食堂で開催



されました。今年も好成绩を期待して、出品牛はもとより出品者の方々には体調には十分注意され、日頃の成果を発揮してください。



平成20年根室ホルスタイン共進会結果

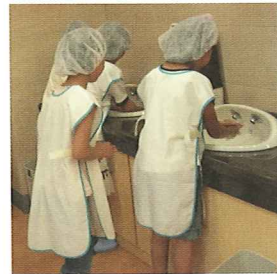
	名	号	農協名	出品者
グランド・チャンピオン	マウントエース	ロイレーン カイト	JAべつかい	安部 克寿
グランド・リザーブ チャンピオン	プレインヒル	エルトンルーク ラプチャー ET	JA標津	大迫 誠一
シニア・チャンピオン	マウントエース	ロイレーン カイト	JAべつかい	安部 克寿
シニア・リザーブ チャンピオン	プレインヒル	エルトンルーク ラプチャー ET	JA標津	大迫 誠一
インターミディエイト チャンピオン	センターランド	マツト ロイ チャンピオン	JA根室	中川 佳代
インターミディエイト リザーブチャンピオン	フレーザーランド	エモリー ドリーム	JAべつかい	平沢 清
ジュニア・チャンピオン	センターリバー	GW アンナ エコー ET	JA中標津	中川 将
ジュニア・リザーブ チャンピオン	ダイアリー	パーク プリンセス ヒーロー	JAべつかい	山賀 秀一

雪印乳業(株)なかしべつ工場 当幌・長正路(ちょうしょうじ)牧場

現地視察
を開催

去る八月四日、好天に恵まれ、美原振興会(会長・山崎浩二氏)会員と家族、普及

センター総勢三十三人が、美原会館集合後バスで一路中標津町に向かいました。



見学前には入念な手洗いを

雪印乳業(株)なかしべつ工場内を視察

最初に雪印乳業(株)なかしべつ工場では、事前にチーズの作り方や工場



担当職員より説明を受ける参加者

内の様子についてビデオによる説明がなされ、その後、工場内施設の視察をさせて頂きました。

まずは白衣についたほこりを吸引、石けんで手洗い、アルコールで消毒と、万全の体制で工場内へ。工場内は洗いやすいようにと、設備含め天井までステンレスで覆われているという構造です。外装工程では、一個四十kgもある大きなチーズが、自動で段ボールにつめられていく様子を子供達含め真剣に見学していました。事務所に戻りゴーダチーズを試食後、なかしべつ工場を後にしました。

環境整備の整った長正路牧場を視察見学

昼食後、普及センター北根室支所志鎌係長の案内のもと、長正路牧場を訪ねました。環境整備の整った農場で、入り口から牛舎まで小さな池と管理の行き届いた芝生と、色とりどりの花たちが出迎えてくれました。経営主の奥さん八世榮さんが環境整備の担当で、こ

こで栽培している花はグループを作り、全て種から苗を作り植えているそうです。花をきれいにみせるコツは「植える面積の幅を狭くして、種類を変えながら長く植えると良い」と教えてくれました。



農場内にて説明を聞く参加者



きれいに管理された色とりどりの花

頂きました。フリーストール二群管理で、濃度の薄いものを先に配りその後、濃

厚飼料を足してから再度ミキシングし、もう一群に給与するという方式をとっているそうです。三十度近い暑さの中でしたが、振興会会員からは環境整備に関する質問の他にも仔牛管理、TMR給餌方法、コーン利用法などいろいろな質問が出ており、それに対しても丁寧に応じて頂きました。帰りには長正路さんのコーン畑(マルチと露地の交互作)を車窓から眺め帰路につきました。



大人も子供もみんな「ワッショイ！」



両日とも天候にもめぐまれ、中春別神社前は大勢の地域の方々と賑わいを見せておりました。夜宮祭では芸能発表会が行われ、神社に設けられたステージでは大人から子どもまで、多くの方が踊りや、手品を披露しており、会場では拍手やフラッシュ、おひねりなどが飛び交い、大いに盛り上がりつつありました。

本祭では通り雨のため一時中断したものの、太陽の日差しが照りつける中、大人から子どもまで地域の方々が、神輿を担ぎながら町内を練り歩きました。神輿の列には、御稚児さんや、獅子舞も加わり行列をなしておりました。前



保育園児によるヨサコイ

はかり、街に活力をよぶ

神輿を担ぎながら「ワッショイ、ワッショイ」かけ声とともに町内を練り歩きました。

各班対抗「たまねぎ拾い」、各班ともチームワークを発揮



力一杯相撲をとる子供達、みな真剣な表情でした

日の夜宮祭同様に保育園児によるヨサコイ、小学生の踊りが披露され、大きな拍手とおひねりが飛び交いました。また、カメラを構え我子の姿を写真やビデオに納めようと、多くの親御さん達がカメラ片手に沿道を埋めておりました。

神輿終了後は、昼食をはさみ恒例の子ども相撲、各町内会対抗のたまねぎ拾いが行われました。子ども相撲では、額から汗を流しながら力一杯に相撲を取る子ども達の姿が見られ、会場からは大きな声援と拍手が沸いておりました。

たまねぎ拾いでは、各チームとも競技が始まる前に作戦会議を開き、一致団結し声を掛け合いながらたまねぎを手渡ししておりました。急ぐあまりにたまねぎを落としてしまう場面もあり会場からは、笑いもおこっておりました。

夜宮祭、本祭ともに老若男女みなさん、それぞれに楽しまれたのではないのでしょうか。地域が一体となり手をつなぎあつて活動し、街に活力を呼び、これからも豊かな心と文化を引き継いでいって欲しいと願っております。

中春別
神社祭

祭りで地域の交流を

去る9月13日の夜宮、14日に行われました本祭では、

「酪農地帯の環境・観光とアンバライカルシステム 共存可能な低コストふん尿施用技術現地公開試験」実施

去る九月二十四日、富岡家畜ふん尿リサイクルセンターにおいて、根鋤農試によるアンバライカルシステムの実験が行われ多くの酪農家、酪農関係者が参加する中開催されました。



加圧前のドラッグホース



加圧後のドラッグホース



散布中の様子



散布後の草地



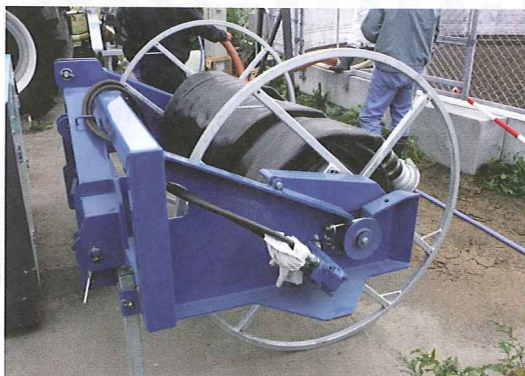
バンドスプレッダを装着したトラクター

アンバライカルシステムとは、主にヨーロッパで多く利用されているスラリー散布方式で、スラリータンク

を牽引せずスラリーストアからスラリーをポンプアップし内径百mmのドラッグホースをバンドスプレッダ(带状施用方式)を装着したトラクターまで延ばし散布する方式です。根鋤農試では、昨年度より実験が開始されています。圧送ポンプで散布するトラクターへスラリーを送り、重いタンクを牽引する必要がないため地盤が柔軟になる早春の施用面積拡大に有効ではないかと期待されています。今後スラリータンカーとの作業効率の比較試験の実施が予定されており、また臭気アンモニア揮散

低減の効果も期待されています。

今回の公開実験では、トラクターの後ろに取り付けられたバンドスプレッダ(幅十五m、三十cm間隔)に取り付けられた五十本のホースの先端よりスラリーを散布しました。今回の試験では、四百mのホースが使用され五ヘクタールの草地への散布を行いました。実用化に向けての今後の取り組みに期待されます。



ドラッグホースのリール(600mまで巻取り可能)

営農対策情報

根室農業改良普及センター

普及指導員 三宅 裕子

草地に炭カルをまきましょう

飼料高騰の中、ますます草地の植生維持が重要になってきました。
マメ科を維持して栄養価の高い粗飼料を確保するためにも、炭カル施肥は重要です。

1. なぜ炭カルシウムが必要か？

① マメ科の維持
炭カルシウムの供給により、マメ科が維持されます。マメ科にある根粒菌により窒素が供給され、イネ科も収量が増えます。(写真1)

② 土壌の酸性改良
pH維持のためには、年間40kg/10aの炭カルが必要だと言われています。pHは化学肥料の施肥によって徐々に低下していきますので、炭カル施用は造成後何年であっても有効です。目安としては、造成3年目以降まだマメ科のあるうちの施肥が有効です。

③ 嗜好性向上
特に放牧地においては、炭カル施用により嗜好性が向上します。春先の散布をご検討下さい。



写真1 マメ科の維持に与えるCaの影響

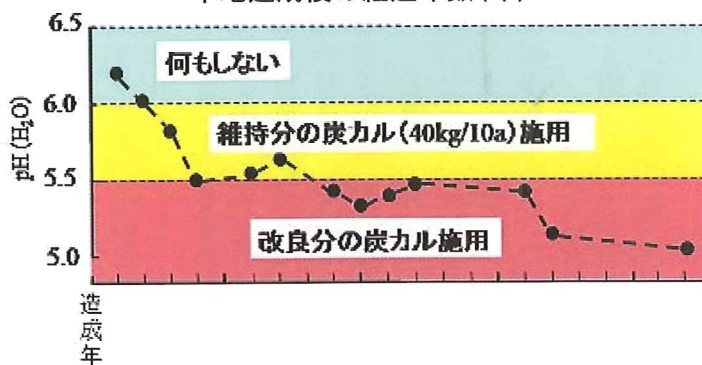
2. 石灰質肥料の種類と特徴

表1 石灰質肥料の種類と特徴

	アルカリ分	特徴	40kg/10a※散布時のコスト
タンカル	53%	粉状で通常草地造成時に使用	590円
粗砕タンカル	53%	作用が穏やか30%程度増施が必要	590円
防散タンカル	50%	他の肥料との混合が可能風の強い日も散布可能	696円
防散苦土タンカル	53%	苦土(60%)の補給も可能	750円

※JA中春別調べ(税込み)

図1 炭カル追肥の目安
草地造成後の経過年数(年)



失敗を乗り越え、今技術を磨いています！



笑顔の貴志さん、仔牛と仲良く記念撮影

伊藤孝彦さんのご紹介で今月号は、豊原地区・野矢貴志さんをご紹介します。



豊原地区 野矢 貴志さん(29歳)

貴志さんは、昭和五十四年十一月二十七日、父・勝己さん、母・千鶴さんの長男として生まれ、中春別小学校、中春別中学校を卒業後、中標津高等学校商業課へ進学し卒業後は地元、中春別を離れ専門学校へ進学され卒業後は、札幌で土木関係の仕事に就かれたそうです。しかし、都会で暮らす中で、段々と地元中春別

の良さが分かるようになり地元に戻る事を決心したそうです。貴志さんは、小学校低学年頃までは、毎日のように牛舎を手伝っていたそうですが、部活動などが忙しくなりしだいに家業を手伝う機会がなくなっていました。しかし幼い頃より牛も自然も大好きだった貴志さんは、漠然と家業を継ぐ事が目標だったそうです。地元に戻り就職したもののやはり家業に対しての思いが日に日に強くなり家業を継ぐ決心をしたそうです。最初の内は、なれない仕事に戸惑いや失敗も多かったと当時を振り返っていました。失敗を乗り越え段々と要領を得て来たそうです。まだまだ勉強中、積極的に勉強会などに参加し一つずつ学んで知識を得ると共に技術を磨いて行きたいと力強く今後の目標について語ってくれ

ました。

貴志さんの趣味は、「自然が大好き」という言葉通り野菜作りや観葉植物を育てる事だそうです。様々な観葉植物を育てていました。写真の巨大カボチャも貴志さんが育てた物だそうです。自然が大好きで、緑が無いと落ち着かないと言う貴志さんの心優しい人柄が伺う事が出来ました。

来月号では貴志さんのご紹介で、中春別地区の藤倉香津靖さんをご紹介します。



自慢の巨大カボチャの横で笑顔の貴志さん



中春別農協年金友の会（会長・渡邊栄顕）では、九月十九日（金）に秋季スポーツ大会を行いました。今回パー

当日は心地よい秋の風がふく晴天となり、絶好のスポーツ日和でしたが、途中から急に雲行きが怪しくなり、雨が降ったり

やんだりと不安定な天気の中、さほど皆さん気にする様子もなく、周りの方々との会話を楽しみながら、元氣良く思いっきりプレーしていました。パークゴルフで



クゴルフは豊原パークゴルフ場、ゲートボールは中春別ヘルスパークの二カ所の会場に分かれて行われ、総勢七十五人の会員の方々が参加する中、開催されました。

年金友の会秋季スポーツ大会 スポーツの秋!! 交流を深めて、いい汗流す



は、ひとり一人が自分のベストスコアを更新しようとして頑張っていました。残念ながら今回ホールインワンは見ることが出来ませんでした。日頃の練習の成果を十分発揮できていました。表彰式では、男子の部で中村与之進さん、



女子の部で金子ケイさんがそれぞれ優勝を果たし、会場からは大きな歓声が沸きました。一方、ゲートボールでは、

集合時間前から集まって練習をしており、チーム優勝を目指す強い意気込みが感じられました。最後にになりましたが、今回の行事もたくさんの方々に参加していただいたことを、会長はじめ事務局ともに大変感謝しております。次回は秋季旅行を予定しておりますので多くの参加をお待ちしております。



パークゴルフ 女性部上位入賞者



男性部上位入賞者

別海町 産業祭

今年も大盛況!!



香ばしい香りが会場に広がります

毎年多くの方々に賑わいを見せています別海町産業祭が、今年も九月二十日、二十一日の日程で、別海町農村広場において盛大に開催されました。

J A 中春別青年部(部長・猿谷)では、消費拡大事業の一環として、今年も別海町産業祭にサイコロステーキ、骨付きソーセージの二品を販売しました。青空が広がる絶好のイベント日和ということもあり、会場は町内外より多くの来場者で賑わいを見せておりました。二品とも焼き上がりがとても美味しそうで、会場内は、肉の焼きあがる香ばしい匂いがひろがっており、会場を訪れた方々により長蛇の列ができ、焼き上がりが間に合わなく、参加した部員は

焼き上がった二品を皿に盛り付けと休む間も無く大忙しでした。中には、何度も買いに来る方もおり二品とも大盛況で、あつという間に完売となりました。その他にも多くの物産品が並び来場した方々が、足を止めておりました。最後になりましたが、参加した青年部員の皆さん大変お疲れ様でした。



休む間もなく大忙しの青年部部員

秋の交通安全 街頭啓発を実施しました

秋の全国交通安全運動にあわせて毎年行われていきます街頭啓発が九月二十二日、中春別駐在所前において多くの地域住民が

参加し、たすきや啓発旗を手に道行くドライバーひとり一人に対し、交通安全を呼びかけるピラ、べつかい牛乳を配布しました。



ドライバーに交通安全を呼びかける参加者

だんだんと夕暮れも早くなり、これから冬にかけて交通事故が多発する時期を迎えようとしています。また、野生動物の急な飛び出しなども増えてくると思います。車を運転される方も歩行者の方も今一度、交通安全を心掛けましょう。



JA中春別女性部からの
今月のおすすめ!メニュー

ナスのチーズ丼

材料、
〔4人分〕



調理方法

1. 米は普通に炊いておく
2. ナスはへたを切り落して縦半分に切り、さらに縦に切込みを入れる。表面に味がしみ込むように切込みを入れる。大葉は6枚だけ千切りにする
3. フライパンにサラダ油を熱し、ナスを入れて表面がうっすらキツネ色になるまで焼く
4. ③にAの調味料を入れて過熱し、ナスにからめる
5. 火を止め、半分に切ったとろけるスライスを④のナスに間に挟む
6. 器にごはんを盛り、大葉を敷きナスを2個（1本）をのせてタレをかける
7. かつおぶしと炒りごま、千切りにした大葉を飾る

- ・米……………2カップ
- ・水……………360ml
- ・ナス…………4本
- ・サラダ油……大さじ2
- ・とろけるスライスまたは厚切りとろけるスライス……………4枚
- ・大葉…………10枚
- ・かつおぶし…1袋(5g)
- ・いりごま…大さじ1(9g)

- A
- だし汁……………大さじ2
 - しょうゆ…………大さじ2
 - みりん……………大さじ2
 - 日本酒……………大さじ2
 - 砂糖……………大さじ1

<一人分の栄養価> エネルギー491Kcal たんぱく質11.3g 脂肪13.1g
 カルシウム182mg 塩分1.6g

資料提供：別海町食生活改善連絡協議会中春別グループ

三つ子誕生!!

去る八月十五日、美原地区・佐藤信吉さんの牛舎で、三つ子が誕生しました。生まれた三つ子は、皆メスです。佐藤さんも「今まで酪農をやっていた三つ子が生まれたことはなかった」と話しており、大変驚かれました。生まれてからの数週間は、獣医の先生が毎日検診に駆けつけ健康状態のチェックを欠かさなかったそうです。そのかいあってか、生まれた時には二十五kgしかなかった子牛達ですが、ミルクをよく飲みすくすくと育っているそうです。今では、元氣一杯に牧場を駆け回っています。今後の活躍に期待がされます。



ミルク王国からのお知らせ

セミの鳴き声から秋の虫の音色に変わり、短い夏の終わりと共にミルク王国も十月十三日をもって今年の営業は終了となりました。気温が低いながらも天候に恵まれ、今年も多くの方々に来店いただきました。また来年、新緑が薫る季節に営業再開を予定しておりますので、しばらくお待ち下さい。

ご利用していただいた皆様、本当にありがとうございました。また、今後とも宜しくお願いたします。



農作業安全「MMH」運動をみんなで取り組もう

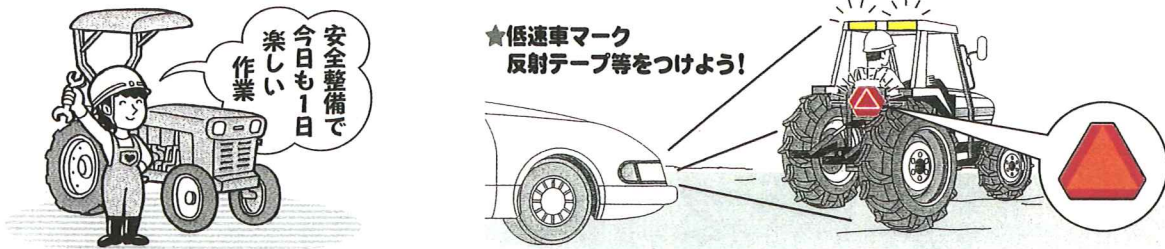
M マナー トラクター等運転は、交通ルールと運転マナーを遵守しよう

- 運転には、道路走行に必要な運転免許、作業に必要な受講証・免許を取得し、交通ルールを守り安全運転に努める。
- トラクター等農耕作業用自動車の道路走行時には、一般自動車と路上で共存を図るために、保安装備を的確に付け、道をゆずる・迂回路を使う・使用道路時間帯を配慮する等、一般交通の妨げにならないよう心掛けると共に、道を汚さない等の運転マナーを遵守する。



M マーク 点検・整備の励行と低速車マーク・反射テープ等の装着をしよう

- トラクター等農耕作業用自動車は、自動車検査制度(車検)の義務が免除されたが、整備不良は重大な事故を招く恐れがあるため、自主的に点検・整備を励行する。
- 一般の自動車との速度差が大きくて追突事故につながる恐れがあるため、低速車マークや反射テープ等を貼付け、また、保安灯火等を装着して、後続車に早く認識させ、事故が起きないように配慮する。



(社)日本農業機械化協会からの許諾に基づく掲載

H 保険 農業労災保険と傷害共済・自動車共済等任意保険へ加入しよう

- 農作業事故・交通事故が発生すると受傷した本人はもとより農家経済全体に重大な影響を及ぼすので、万一の事故に備えて労災保険及び共済等任意保険に加入し安心して農業経営に当たる。



北海道農作業安全運動推進本部

北海道・JA北海道中央会・JA北海道信連・ホクレン・JA共済連北海道
JA北海道厚生連・北海道農業開発公社・北海道NOSAI・北海道農業機械工業会
クボタ・キセキ北海道・ホクトヤンマー・東日本三菱農機販売・日本ニューホランド
MSK農業機械・IHIスター・北海道農機商業協同組合



平成二十年九月二十四日(水)

議案

- 一、規程類の改正について
- 二、地域農業振興計画の策定スケジュールについて
- 三、平成二十年営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
- 四、平成二十年(後期)JA中春別選定種雄牛(案)について
- 五、リース契約について

以下、原案通り承認

報告事項

- 一、組合員加入について
- 二、北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
- 三、平成二十年職員研修の実施について
- 四、平成二十年一日皆貯金の実施について
- 五、平成二十年九月末棚卸実査について
- 六、平成二十年八月末営農生産関連実績について



農協職員養成学校
大卒・短大・専門学校卒大歓迎

(財)北海道
農協学校

- 60名 ●1カ年、全寮制
- 高卒21歳未満男女
- 大卒、短大・専門学校卒24歳未満男女
- 試験日:12月15日・16日
- 願書受付:9月16日～11月17日

全道の農協へ

平成17、18、19年度
100%就職

お問い合わせ・資料請求

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

(財)北海道農協学校

(JAカレッジ) Tel 011-386-7502

http://www.ja-college.jp/

8月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

8月分乳代支払単価

			単価	算出基礎	支乳	前年	差
					払	期	
					価	同	
乳	脂肪分		734.411		28.45	25.41	3.04
無	脂乳固形分		465.494		40.23	36.11	4.12
補	給金		4.2791		4.28	4.20	0.08
計	画チーズ奨励金						
乳	生菌数	ランク1	2	314,661,186.7kg	3.64	3.62	0.02
		ランク2	0	7,006,093.4kg			
		ランク3	-3	259,237.9kg			
	体細胞数	ランク1	2	259,913,995.2kg			
		ランク2	1	33,612,380.6kg			
	乳質単価	乳質向上	ランク1	-2			
	特別対策	ランク2					
合	計				76.60	69.34	7.26

項目	単価(円)/kg %	
乳脂肪分①	28円45銭	
無脂乳固形分②	40円23銭	
補給金③	4円28銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	3.87%
	農協	3.89%
無脂固形分率	全道	8.64%
	農協	8.60%
成分乳価	全道	72円96銭
	①+②+③+④=⑤ 農協	72円91銭
乳質乳価⑥	全道	3円64銭
	農協	3円68銭
乳代合計	全道	76円60銭
	農協	76円59銭
	⑤+⑥ 差異	円-1銭

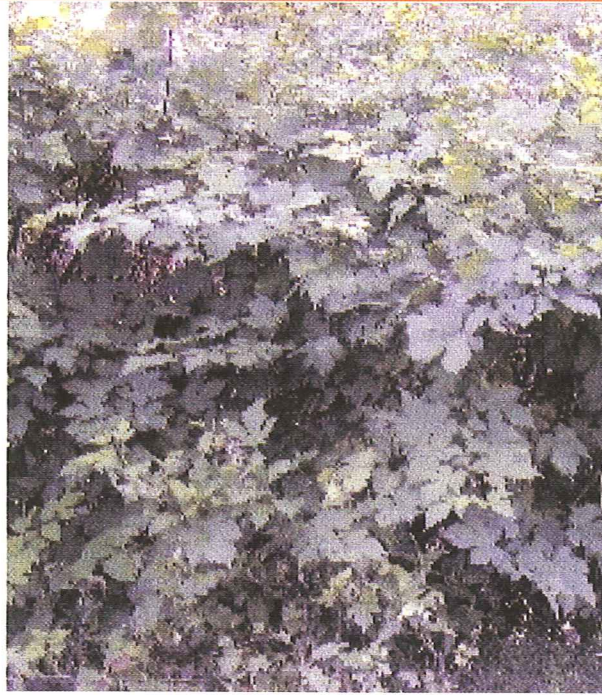
編集後記

▼十月に入って夕暮れが早くなり、木々を眺めても秋の深まりを日に日に感じられるようになりました。これからは朝晩冷え込んできますので、ストーブを使用する機会が増えてくるのではないのでしょうか。北海道の長い冬が、すぐそこまで近づいて来ていることでしょう。

▼さて今月号では、敬老会を掲載しました。今年も皆さんのたくさんの笑顔を拝見する事ができました。久しぶりに顔を合わせた方や、気の合う仲間同士互いに話が尽きず、終始和やかな雰囲気でした。また、踊りやカラオケなど多くの方々が披露され、日頃の練習の成果を發揮され拍手喝さいでした。

▼全国秋の交通安全運動に合わせ、中春別駐在所前での街頭啓発が行われました。シートベルト、スピードの出過ぎはもちろんの事、野生動物の飛び出し特に鹿には十分気をつけてください。今一度、安全運転を心がけ悲惨な事故を防ぎましょう。

身近な樹木に触れ、名前を知り
自然ともっと仲良くなろう



クマイチゴ(熊莓)

日当たりのよい山地の林縁や荒地などに普通に見られます。落葉低木で高さは2mで庭や公園などに植えられています。分布は北海道南部に多く、日本の全域、朝鮮、中国です。

熊の出そうなところに生えることから、熊が食べるイチゴといわれるようになったという説があります。別名はタチイチゴ、ヤマイチゴとも呼んでいます。

実は大きい味が覚をそそるような味ではありませんが、生食用やジャムなどに加工して食べられています。

北海道に自生する木になるイチゴはクマイチゴのほかにエゾイチゴ、ナワシロイチゴ、クロイチゴ、エビラガイチゴなどがあります。



ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋